

## 2. 都市の骨格構造（拠点と軸）の見直し

- ・都市計画マスタープラン等の上位・関連計画における拠点・軸の考え方を踏まえ、コンパクトなまちづくりを目指すうえで都市構造の骨格となる拠点・軸（ネットワーク）の形成方針（案）を検討

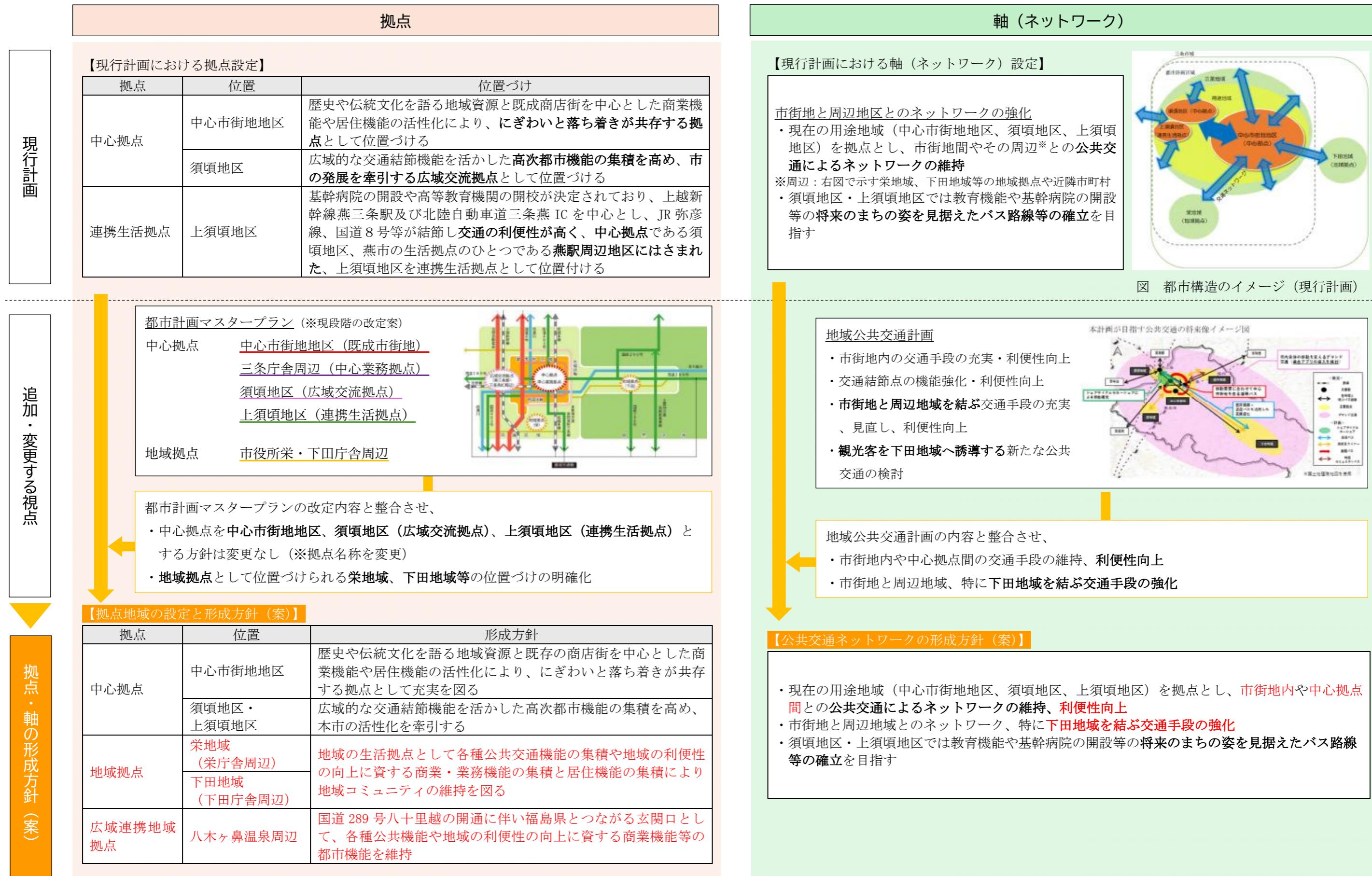


図 都市構造のイメージ（現行計画）

## 目指すべき都市の骨格構造

拠点と軸			考え方
拠点	中心拠点	中心市街地地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療・福祉・子育て・商業・行政等の日常的なサービス機能の集約を図り、これらの機能維持のために必要な人口密度を維持</li> <li>・豊富な地域資源を活かした市民の交流の場を創出し、都市の活力と生活利便性の維持向上を図る</li> </ul>
		須頃地区・上須頃地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外の広域交流を目指し、高次都市機能の維持・充実により、地元企業の発展や地域医療体制の充実を図る</li> <li>・商業、文化、交流、研究開発、コンベンション機能等の集積を図り、県央圏域の表玄関として魅力ある都市空間を形成</li> </ul>
	地域拠点	栄地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の生活拠点として各種公共機能や地域の利便性の向上に資する商業・業務機能等の都市機能を維持し、地域コミュニティを維持</li> </ul>
		下田地域	
広域連携地域拠点	八木ヶ鼻温泉周辺		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道289号八十里越の開通に伴い福島県とつながる玄関口として、各種公共機能や地域の利便性の向上に資する商業機能等の都市機能を維持</li> </ul>
交通軸	広域交通軸		<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道、路線バスのうち中心拠点と近隣都市等、広域都市間を連絡する区間を広域交通軸として位置づけ</li> </ul>
	拠点間交通軸		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各拠点と地域拠点間を連絡する路線バス等や、中心拠点内を循環する市内循環バス等を拠点間交通軸として位置づけ</li> </ul>



図 目指すべき都市の骨格構造のイメージ